

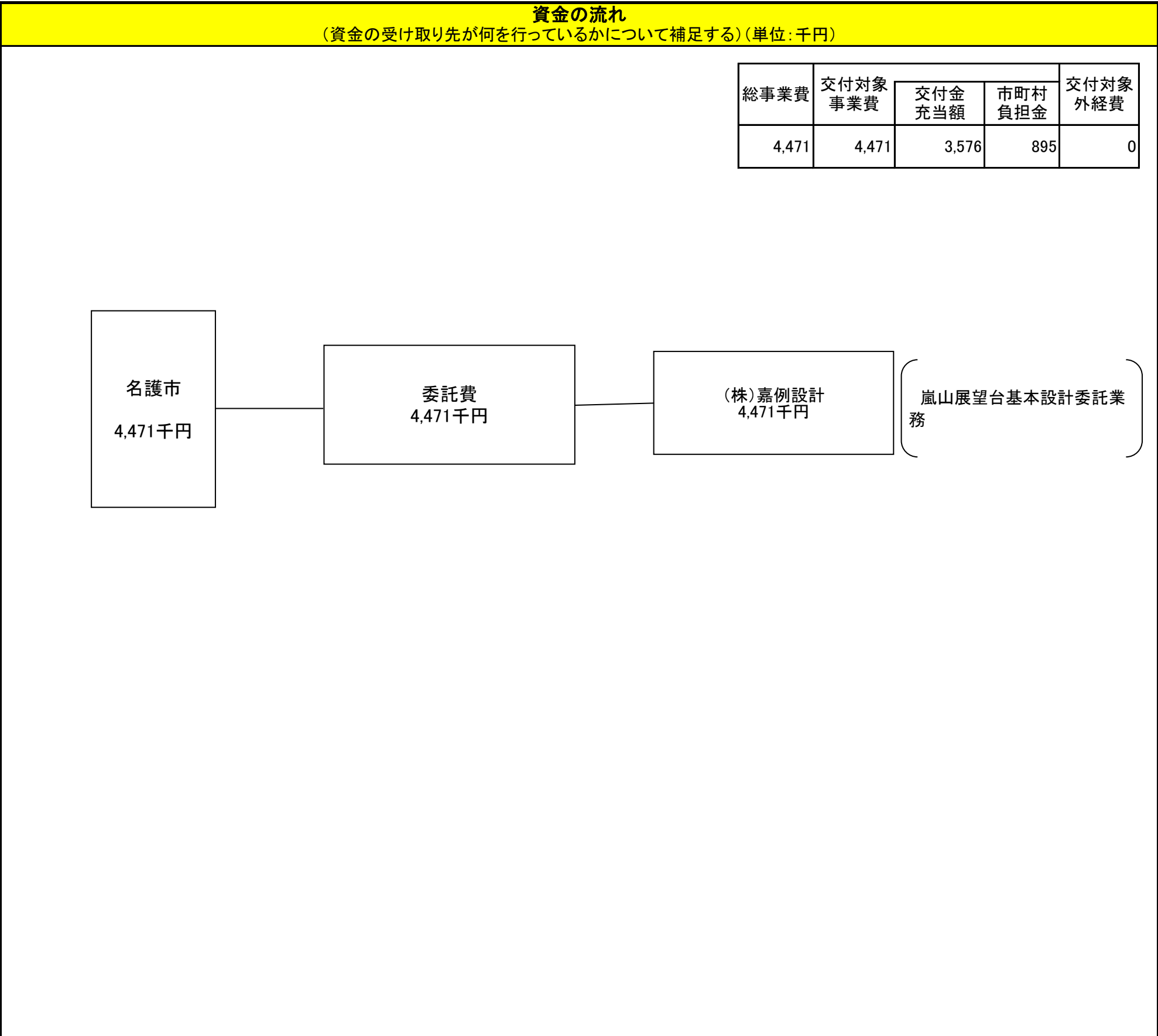
市町村名	名護市						
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	轟の滝周辺整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-イ			
担当部課名	建設部 都市計画課	事業実施（予定）年度	平成24～29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	圏域の特色を生かした産業の振興		
事業内容	III-1-(1)						
事業内容	魅力ある観光スポットを活用し、まちの活性化、観光振興に繋げるため、文化財である轟の滝の周辺を整備する。						
効果発現年度	□当年度 ■後年度（31年度）						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			27年度	27年度	28年度	28年度（繰越）	29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	110,000	－	168,000	－	
		(b) 予算現額	110,000	－	168,000	－	
		(c) 増減額 (b-a)	0	－	0	－	
		(d) 繰越額	－	46,777	0	109,190	
		A. 計 (b+d)	110,000	46,777	168,000	109,190	
	B. 執行済額		63,223	46,755	58,810	109,190	
	うち交付金充当額		50,578	37,404	47,048	87,352	
	次年度繰越額		46,777	－	109,190	－	
	執行率（％）(B/A)		57.5%	100.0%	35.0%	100.0%	
予算の状況の説明		河川沿いの整備工事個所に隣接する石積みにひび割れ等が新たに確認されたため、石積復旧箇所の範囲を見直す必要が生じたため、工事と工事に関する現場技術業務の完了が困難となり、109,190千円を29年度に繰越した。					
活動目標（指標）及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	・委託業務 6件（資材調査、現場技術業務、工事監理業務、実施設計（管理用道路）、設備設計（管理施設工）、用地測量）	目 標	（ ・委託業務 2件 ）	（ ・委託業務 6件 ）	（ — ）	（ — ）	
		実 績	・委託業務 2件	・委託業務 3件	—	—	
	・工事 2件	目 標	（ ・整備工事 1件 ）	（ ・整備工事 2件 ）	（ — ）	（ — ）	
		実 績	・整備工事 1件	・整備工事 1件	—	—	
	・用地買収	目 標	（ ・用地買収 5筆 ・物件補償 1件 ）	（ ・用地買収 10筆 ）	（ — ）	（ — ）	
		実 績	・用地買収 5筆	・用地買収 0筆	—	—	
	達成状況説明	委託業務3件は、設備設計（1件）、現場技術業務（1件）、管理用道路実施設計（1件）を実施した。予定していた用地測量（1件）、資材調査業務（1件）、工事監理業務（1件）は平成29年度事業に実施する計画に見直した。 工事は当初2件発注予定であったが、滝周辺の整備工事1件を優先的に進め、便益施設建築工事の発注を平成29年度に実施することとした。 用地買収は管理用道路実施設計後に用地測量を発注し進めていく計画であったが、地権者への説明に時間を要し平成29年度の実施へと計画を見直した。					
	成果目標（指標）及び進捗状況	H28成果目標（指標）		基準値（年度）	27年度	28年度	29年度
①管理用道路に必要な用地取得		目 標	（ — ）	（ — ）	（ 取得 ）	（ — ）	（ — ）
		実 績		—	未取得	—	
②整備工事、建築工事の完了		目 標	（ — ）	（ — ）	（ 完了 ）	（ — ）	（ — ）
		実 績		—	・整備工事完了 ・建築工事未完了	—	
【H31成果目標】年間入場者数		目 標	（ — ）	（ ）	（ ）	（ ）	2.6万人
		実 績					
進捗状況説明		①管理用道路に必要な用地については、取得できず目標未達成となった。 ②整備工事を完了し、親水広場、展望広場、納涼殿および管理橋を完成させた。このことにより、前年度に完成した自然体験学習広場や滝を望む施設（展望デッキ、納涼殿）への安全な通路が確保された。便益施設建築工事の完了については、未達成となった。 また、管理用道路の実施設計及び設備設計を完了させ平成29年度の工事実施へと遅滞なく移行できるよう取り組んだ。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①管理用道路実施設計後に、用地取得を行う計画であったが、計画変更の説明に時間を要したため、平成28年度では用地取得を終えることが出来なかった。 ②整備工事発注後の現地調査等の中で、既設河川護岸の修復が必要なことが発覚し、当該工事に係る分の変更増額が必要となったことから、建築工事の発注を29年度に見送ることとしたため、事業の進捗に一部遅れが生じている。	①計画への賛同を得られるように地権者および地元への説明を丁寧に行っていくことで、29年度以降の事業の進捗を計画通りに進めることに繋がると考える。 ②平成30年度供用開始へ向け、残工事の発注計画を見直し、事業の工程・期間を見直すことにより、事業の進捗を当初予定の範囲内とすることに繋がると考えられる。
今後の取り組み方針		
①地権者および地元への丁寧な説明を行い計画への賛同を早期に得ることで、29年度の発注計画の見直しにつなげ、事業の進捗に影響が出ないよう取り組む。 ②平成29年度は管理用道路の用地取得、イベント広場・駐車場・管理棟・管理用道路の整備について、見直した発注計画に基づき、引き続き進めていくことで、平成30年度供用開始を目指して取り組んでいく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>168,000</td><td>168,000</td><td>134,400</td><td>33,600</td><td>0</td></tr></table> 名護市 168,000千円 委託費 18,124千円 工事請負費 149,876千円 (有)環境空間 3,810千円 国際技研(有) 4,139千円 (有)国誠測量設計 10,175千円 (有)大和緑建 149,876千円 （ 轟の滝周辺整備管理施設工設計委託業務 轟の滝周辺整備管理用道路実施設計委託業務 轟の滝周辺整備工事現場技術業務・現場技術業務 轟の滝周辺整備工事(その2)・整備工事					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	168,000	168,000	134,400	33,600	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
168,000	168,000	134,400	33,600	0										
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。 ○予算規模については当初予定していた事業の活動内容に応じた基準等（積算基準、損失補償基準等）により算出され、適正な規模であったと考える。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	名護市							
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑤	嵐山展望台周辺整備事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－（2）－ウ				
				観光客の受入体制の整備				
担当部課名	商工観光局	事業実施 （予定）年度	平成25～30年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－（1）			
事業内容	羽地内海が見渡せる絶景スポットである嵐山地域を観光拠点として活用するため、当該地域の周辺整備を実施する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☐ 後年度（ 年度）							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	28年度（繰越）	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	5,956	—	22,896	5,745	—	
		(b) 予算現額	5,956	—	22,896	5,745	—	
		(c) 増減額 (b-a)	0	—	0	0	—	
		(d) 繰越額	—	—	—	—	5,745	
		A. 計 (b+d)	5,956	—	22,896	5,745	5,745	
	B. 執行済額		5,890	—	16,028	0	4,471	
	うち交付金充当額		4,712	—	12,822	0	3,576	
	次年度繰越額		0	—	—	5,745	—	
	執行率（％）(B/A)		98.9%	—	70.0%	0.0%	77.8%	
予算の状況の説明		交流スペースの位置や面積、利用者の導線を見直すよう要望があり、再度協議や設計の見直しをするため、不測の期間を要し年度内の執行が困難となったことから、5,745千円全額を繰り越すこととなった。 入札残により1,274千円の不用が生じたが、当初予定していたとおり、基本設計を実施することができた。						
活動目標（指標）及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況					
				28年度	29年度	30年度	31年度	
	基本設計の検討	目 標	（ 基本設計の検討 ）	（ — ）	（ — ）	（ — ）		
		実 績	基本設計の検討	—	—	—		
達成状況説明	嵐山展望台の施設管理運営を希望する団体と調整を進めながら希望する団体と調整を進めながら基本設計を実施した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H28成果目標（指標）			基準値 （ 年度）	28年度	29年度	30年度	目標値 （ 年度）
	基本設計の完了	目 標	（ — ）	（ 基本設計の完了 ）	（ — ）	（ — ）	（ — ）	
		実 績		基本設計の完了	—	—		
	進捗状況説明	嵐山展望台の施設管理運営を希望する団体と調整を進めながら希望する団体の双方と調整を進め基本設計を作成（完了）した。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・基本設計完了後の平成30年2月に、基本設計策定段階から調整を進めてきた当該施設管理運営を行うことを見込んでいた団体（地元区及び周辺集落で構成する団体）が、解散することとなった。 これを踏まえ、同年3月より地元区住民及び出身者等で構成される団体が新展望台の管理運営に向けた活動を引き継ぐこととなったため、運営組織体制や事業計画について見直しが必要な状況となっている。	・状況の変化に対応して基本設計等の内容の一部見直しを行うことで、効率的な組織体制や事業計画を構築する必要がある。
今後の取り組み方針		
・平成30年度は、運営組織体制、事業計画について、効果的、効率的な組織体制や対応のあり方、経費の節減等について再度検討し、29年度に策定した計画の修正を行うための期間とする。 施設整備後は地元が管理運営を希望していることから、30年度中において地元との意見交換、調整を進め、基本設計における管理運営計画等の一部見直しを行った上で、改めて運営組織体制、事業計画を取りまとめた上で、本件の実施設計を行っていく。		



資金の流 点検 評価 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については、事業目的を達成するために必要な委託費等であり、適正であった。 ○費目・用途については事業完了後に検査・検収を行い、適正に実施されていることを確認している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	名護市							
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑥	真喜屋運動広場整備事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－2－（1）－イ				
				「スポーツアイランド沖縄」の形成				
担当部課名	地域政策部 文化スポーツ振興課	事業実施 （予定）年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－（1）			
事業内容	真喜屋運動広場において様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張整備を実施し、スポーツコンベンションの開催や、合宿利用等にも対応できるよう多目的広場としての利用環境を改善する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（30年度）							
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			27年度	27年度（繰越）	28年度	28年度（繰越）	29年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	224,273	—	379,799	—		
		(b) 予算現額	124,273	—	351,434	—		
		(c) 増減額（b-a）	▲ 100,000	—	▲ 28,365	—		
		(d) 繰越額	—	124,273	—	150,795		
		A. 計（b+d）	124,273	124,273	351,434	150,795		
	B. 執行済額		0	74,835	200,639	141,801		
	うち交付金充当額		0	59,868	160,511	113,440		
	次年度繰越額		124,273	—	150,795	—		
	執行率（％）（B/A）		0.0%	60.2%	57.1%	94.0%		
	予算の状況の説明		真喜屋運動広場整備に係る整備工事について、入札の結果、整備工事の契約額が積算よりも減となったことと、建築確認申請の申請先の変更などの理由により、不用となる工事請負費28,270千円、役務費95千円、合計28,365千円を年度内に減額した。 また、工事着手前に要する関係機関への申請及び許可を得るのに不測の日数を要し、更に工事期間中の天候不良による工事の遅延のため、平成28年度内の完了が困難となり工事費等にかかる150,795千円を平成29年度に繰越をした。最終的に、事業の執行残により、8,994千円の不用が生じたが、当初予定していた事業内容を全て実施できた。					
活動目標（指標）及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況					
				25年度	26年度	27年度	28年度	
	整備工事の実施	目 標	（ — ）	（ — ）	（ — ）	（ 実施 ）		
		実 績	—	—	—	実施		
	達成状況説明	真喜屋運動広場整備に係る整備工事について、工事着手前に要する関係機関への申請及び許可を得るのに不測の日数を要し、更に工事期間中の天候不良による工事の遅延のため、平成28年度内の完了が困難となり平成29年度に繰越をし、完了した。当初設定した活動目標については達成することができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H28成果目標（指標）			基準値 （ 年度 ）	26年度	27年度	28年度	目標値 （30年度）
	真喜屋運動広場整備工事の完了	目 標	（ — ）	（ — ）	（ — ）	（ 完了 ）	（ — ）	
		実 績		—	—	完了		
	【H30成果目標】 年間利用者数	目 標	（ — ）	（ ）	（ ）	（ ）	14,000人	
		実 績						
	進捗状況説明	真喜屋運動広場の整備工事について、工事着手前に要する関係機関への申請及び許可を得るのに不測の日数を要し、更に工事期間中の天候不良による工事の遅延のため、繰越となり、29年度に整備工事が完了した。整備後、指定管理の選定を行い、同年7月から供用を開始した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・真喜屋運動広場において様々なスポーツが快適かつ安全に行えるよう拡張用地取得及び拡張整備を実施し、利用環境を改善することができた。	・真喜屋運動広場を活用したイベントの開催や、情報発信の強化により広報活動を行うことで、施設の認知度が向上するとともに、真喜屋運動広場の利用者数の増加に繋がるものと考えられる。
今後の取り組み方針		
・今後は、整備後の真喜屋運動広場の利用者数の増に向けて、当該施設を活用したスポーツコンベンションや地域イベントの企画及び開催をおこなうとともに、スポーツ合宿利用の促進を図るため、対内外に向けた積極的な周知活動に取り組んでいく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>342,440</td><td>342,440</td><td>273,952</td><td>68,488</td><td>0</td></tr></table> 名護市 342,440千円 役務費 292千円 沖縄県 292千円 (開発行為許可申請手数料 建築確認申請手数料 完了検査申請手数料) 委託費 15,925千円 (有)名護総合測量設計 8,232千円 (有)玉城測量設計 7,692千円 (真喜屋運動広場現場技術委託業務 真喜屋運動広場整備磁気探査委託業務) 工事請負費 326,223千円 (有)大地緑建・(有)宮松建設JV 326,223千円 (真喜屋運動広場整備工事 (有)大地緑建 (有)宮松建設)					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	342,440	342,440	273,952	68,488	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
342,440	342,440	273,952	68,488	0										
資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については当初予定していた事業の活動内容に応じた基準等(積算基準、損失補償基準等)により算出され、適正な規模であったと考える。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	名護市							
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5-②	農産物6次産業化支援拠点施設整備事業（アグリパーク）	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-キ				
担当部課名	農林水産部 園芸畜産課	事業実施（予定）年度	平成24～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)			
事業内容	名護市の農家所得の減少、就農者数の減少、農産物全体の粗生産額の著しい低下等の課題解決を目的に、6次産業化と観光とを融合したアグリパークを整備する。							
効果発現年度	□当年度 ■後年度（32年度）							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			26年度	26年度（繰越）	28年度	28年度（繰越）	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	449,225	－	173,616	－		
		(b) 予算現額	479,234	－	173,616	－		
		(c) 増減額（b-a）	30,009	－	0	－		
		(d) 繰越額	－	468,561	－	144,042		
		A. 計（b+d）	479,234	468,561	173,616	144,042		
	B. 執行済額		10,673	416,609	29,498	143,042		
	うち交付金充当額		8,538	333,287	23,598	114,434		
	次年度繰越額		468,561	－	144,042	－		
	執行率（％）（B/A）		2.2%	88.9%	17.0%	99.3%		
予算の状況の説明		事務費及び委託費で合わせて1,252千円の増があったが、需用費75千円の減、工事請負費並びに備品購入費の入札残で2,252千円の減があり、不用額が860千円となった。 また、実施設計の見直しに不測の日数を要したこと、建築工事の入札不調に係る設計の変更に不測の日数を要したことから、144,042千円は平成29年度へ繰り越して実施した。						
活動目標（指標）及び達成状況	H28活動目標（指標）			達成状況				
				28年度	29年度	30年度	31年度	
	観光ハウス、栽培ヤード、ハーブ園の建築工事着手	目標	（ 着手 ）	（ ー ）	（ ー ）	（ ー ）		
		実績	着手	ー	ー	ー		
達成状況説明	栽培ヤード及びハーブ園については外構整備工事（その6）において実施し、年度内に完了した。 観光ハウスにおいては実施設計にあたり、施設管理者（沖縄美ら島財団）より施設設計の改善提案があり、温度管理に係る設備などの設計の見直しに不測の日数を要した。また、建設請負工事において、入札不調となり、再入札を行う必要が生じ、そのため、設計の変更に不測の日数を要したことから、平成29年度へ繰り越して実施し完了した。							
成果目標（指標）及び進捗状況	H28成果目標（指標）			基準値（年度）	28年度	29年度	30年度	目標値（32年度）
	観光ハウス、栽培ヤード、ハーブ園整備の完了	目標	（ ー ）	（ 完了 ）	（ ー ）	（ ー ）	（ ー ）	
		実績		完了	ー	ー		
	【H32成果目標】 アグリパーク来場者数	目標	（ ー ）	（ ）	（ ）	（ ）	300,000人	
		実績						
	進捗状況説明	・栽培ヤード、ハーブ園については平成29年3月末に完成した。観光ハウスについては実施設計の見直しや入札不調による理由で、年度内に完了できず、平成29年度へ繰り越して実施し、平成30年1月末に事業完了した。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・観光ハウス、栽培ヤード、ハーブ園整備が完了したことにより、アグリパーク全体の施設整備が完了したことから、今後は施設の効果を最大限発揮するため、関係機関と協力し更なる利活用促進に向けた検討を行う必要が有る。 また、施設の立地が幹線道路から奥まった場所にあるため、施設の知名度向上に向けた取り組みも継続して検討が必要である。	・利活用促進に向けては、指定管理者と運営に関する継続的な協議を行っていくとともに、幹線道路からの誘導、隣接する観光施設との連携に取り組んでいくことが、知名度向上に資するものと考えられる。
今後の取り組み方針		
・施設の効果を最大限に発揮し、農家所得の向上等に繋げるため、沖縄海洋博公園等、沖縄県で有数の観光施設を管理運営している、指定管理者（沖縄美ら島財団）の集客に関するノウハウを最大限活用するとともに、名護市関連施設や隣接する施設とも連携した広報活動を展開していく。 また、幹線道路への看板設置に向けて幹線道路を管轄する国道事務所との看板設置に関する調整を行っていく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）																
<table><tr><th rowspan="2">総事業費</th><th rowspan="2">交付対象事業費</th><th colspan="2">交付金充当額</th><th rowspan="2">交付対象外経費</th></tr><tr><th>市町村負担金</th><th></th></tr><tr><td>172,540</td><td>172,540</td><td>138,032</td><td>34,508</td><td>0</td></tr></table> 名護市 172,540千円 事務費 287千円 委託費 21,243千円 工事請負費 149,412千円 備品購入費 1,598千円 市職員 60千円 沖縄県 227千円 委託補助員 6,840千円 (有)合同事務所碧 6,264千円 (有)大望エンジニアリング 2,890千円 (同)アベックス 1,231千円 (有)合同事務所碧 130千円 大嶺建設設計 3,888千円 (株)秀KEN 15,179千円 (有)友屋工業 12,636千円 (株)仲程電工 19,386千円 (有)大地緑建 102,211千円 (株)ジムキ文明堂北部支店 1,598千円 工場検査旅費 一団地申請手数料 建築確認申請手数料 完了検査手数料 開発変更申請手数料 平成28年度農産物6次産業化支援拠点施設整備事業 技術補助委託業務 農産物6次産業化支援拠点施設（第2観光農園）設計 委託業務 農産物6次産業化支援拠点施設（第2観光農園）土質 調査委託業務 農産物6次産業化支援拠点施設敷地造成設計委託業務 （H28） 農産物6次産業化支援拠点施設（第2観光農園）設計 意図伝達業務 農産物6次産業化支援拠点施設（第2観光農園）工事 監理委託業務 農産物6次産業化支援拠点施設外構整備工事（その 6） 農産物6次産業化支援拠点施設（第2観光農園）機械 設備工事 農産物6次産業化支援拠点施設（第2観光農園）電気 設備工事 農産物6次産業化支援拠点施設（第2観光農園）建築 工事 農産物6次産業化支援拠点施設第2観光ハウス等備					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費	市町村負担金		172,540	172,540	138,032	34,508	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費												
		市町村負担金														
172,540	172,540	138,032	34,508	0												
資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明												
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○業者選定については、地方自治法第167条の2第1項第1号、及び同条の2第1項第2号による随意契約によるものと、それ以外は指名競争入札による業者選定を実施していることから、妥当であったと考える。												
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○事業年度に見合った予算規模であったと考える。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目・使途については、事業目的の観点から、必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正だったと考える。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。														

市町村名		名護市						
平成 2 8 年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5-③		名護市食鳥処理施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－（7）－ウ		
	農林水産部 園芸畜産課		事業実施 （予定）年度	平成28年度		農林水産物の安全・安心の確立		
担当部課名					沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－（6）		
事業内容	新たな食鳥処理施設の整備に必要となる用地を取得することによる事業環境の整備を通じ、食鳥処理施設の再編や県内鶏肉の衛生・品質管理の高度化を促進する。							
効果発現年度	□当年度 ■後年度（35年度）							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			28年度	28年度（繰越）	29年度	30年度	31年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	328,663	－				
		(b) 予算現額	328,663	－				
		(c) 増減額 (b-a)	0	－				
		(d) 繰越額	－	328,024				
		A. 計 (b+d)	328,663	328,024				
	B. 執行済額		486	277,350				
	うち交付金充当額		389	221,880				
	次年度繰越額		328,024	－				
	執行率（％）(B/A)		0.1%	84.6%				
予算の状況の説明		用地取得に必要な農地転用手続きを行うには、農業振興地域計画の総合見直しの完了が前提であったが、異議申し立てがあり、不測の日数を要したことから328,024千円を平成29年度へ繰越して実施した。 公有財産取得費において、実施設計により建物配置等が精査され敷地面積が17,668㎡から16,658㎡へ縮小されたことと、土地鑑定により、土地単価が平均で約15,100円と、隣接地を参考とした概算額である18,000円から減となったため、66,624千円の減額となったことから、調査業務等と補償費で合わせて15,798千円増額があったものの、差し引き合計で事業費が50,827千円の減額となり、交付金の不用額は40,661千円となった。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H28活動目標（指標）			達成状況				
				28年度	29年度	30年度	31年度	
	施設整備に必要な用地購入	目 標	（ 施設整備に必要な用地購入 ）	（ ー ）	（ ー ）	（ ー ）		
		実 績	施設整備に必要な用地購入	ー	ー	ー		
達成状況説明	平成28年度に土地鑑定を完了し、平成29年度（平成28年繰越）において用地取得を完了した。							
成果目標 （指標） 及び進捗状況	H28成果目標（指標）			基準値 （ 年度 ）	28年度	29年度	30年度	目標値 （35年度）
	施設整備に必要な用地取得の完了 購入面積：17,668㎡	目 標	（ ー ）	（ 完了 ）	（ ー ）	（ ー ）	（ ー ）	
		実 績		完了	ー	ー		
	【H35成果目標】 処理羽数	目 標	（ ー ）	（ ）	（ ）	（ ）	17,000羽／日	
		実 績						
	進捗状況説明	当初17,668㎡購入予定であったが、土木実施設計及び施設実施設計により、建物配置等を精査した結果、必要最低限である16,658㎡の用地取得を行うこととした。用地取得については平成30年1月末に完了となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(施設整備に必要な用地取得) ・用地取得により施設整備の環境は確保されたことから、今後は各種関係機関と協力して、施設整備を進める必要がある。 (食鳥処理施設の建設) ・沖縄県畜産振興対策事業(食鳥処理施設整備事業)の平成28年度繰越事業において、造成工事及び生産機械の製造等を完了した。今後は平成29年度・平成30年度事業において、建築工事、生産機械の設置工事、外構工事等すべての工事を完了し、平成31年度に運用開始を行えるよう関係機関と協力しながら事業を進める必要がある。	(施設整備に必要な用地取得) ・実施設計などによる見直しにより、必要最低限の用地取得を行ったため改善の必要はないものと考えられる。 (食鳥処理施設の建設) ・建設工事の工程管理や補助元の沖縄県と調整しながら工期短縮に努め、工事完了後は速やかに運用開始を行えるよう、指定管理者である沖縄県食鳥処理協業組合や、その他関係機関と情報共有を密に行う必要がある。
今後の取り組み方針		
(施設整備に必要な用地取得) ・必要最低限の用地取得は完了しており、今後は、各種関係機関と協力しながら施設整備を進め、平成31年4月の供用開始を目指す。 (食鳥処理施設の建設) ・週1回の工程会議への出席、沖縄県及びの情報共有を密に行い平成30年度内の工事完了を目指す。また、工事完了後は速やかに運用開始を行えるよう指定管理者である沖縄県食鳥処理協業組合、その他関係機関との情報共有を密に行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>277,836</td><td>277,836</td><td>222,269</td><td>55,567</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	277,836	277,836	222,269	55,567	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
277,836	277,836	222,269	55,567	0										
名護市 277,836千円	役務費 1,054千円	(株)沖縄地所鑑定 486千円	〔 名護市食鳥処理施設不動産鑑定業務委託 〕											
		琉球新報 沖縄タイムス 410千円	〔 事業説明会新聞広告料 〕											
		沖縄県 158千円	〔 事業認定申請手数料 〕											
	委託費 4,957千円	(株)嘉例設計 3,445千円	〔 名護市食鳥処理施設整備事業物件補償設計業務 〕											
		仲井間土地家屋調査士事務所 1,512千円	〔 名護市食鳥処理施設整備事業用地測量業務委託 〕											
	公有財産取得費 251,400千円	個人 215,310千円	〔 用地売買契約 〕											
		個人 34,616千円	〔 用地売買契約 〕											
		個人及び法人 1,403千円	〔 用地売買契約 〕											
		日本政府 71千円	〔 収入印紙代 〕											
	補償、補填及び賠償金 20,425千円	個人 20,425千円	〔 物件移転補償 〕											
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託の業者選定については指名競争入札と、地方自治法施行令167条の2第1項第1号に基づく随意契約を行っているため妥当であったと考える。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○予算規模については不用交付金額40,661千円となったが、主な要因は実施設計による施設配置等の見直しから取得用地の面積の縮小したこと、土地鑑定により当初概算額から、土地単価が減額となったことによるもので、適正と考える										
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												